

## 予 算 決 算 常 任 委 員 会

1. 日 時 平成30年3月12日（月）

午前9時30分 開会 午前11時51分 休憩

午後1時10分 再開 午後1時40分 閉会

平成30年3月19日（月）

午後1時30分 開会 午後2時00分 閉会

2. 場 所 本会議場

3. 出席委員 【予算決算常任委員会】

灰田昌典委員長、宮西健吉副委員長、南藤陽一委員、井田秀喜委員

木下裕介委員、新田寛之委員、吉村範明委員、浅村起嘉委員

梅田利和委員、吉本慎太郎委員、高野哲郎委員、片山瞬次郎委員

出戸清克委員、二木攻委員、宮川吉男委員、川崎順次委員

橋本米子委員、表靖二委員、浅野清利委員、北出隆一委員、杉林憲治委員

4. 欠席委員 浅野清利委員（3/12）

片山瞬次郎委員（3/19）、表靖二委員（3/19）

5. 委員会の議題

議案第1号 平成30年度小松市一般会計予算

議案第2号 平成30年度小松市国民健康保険事業特別会計予算

議案第3号 平成30年度小松市介護保険事業特別会計予算

議案第4号 平成30年度小松市公債管理特別会計予算

議案第5号 平成30年度小松市産業団地事業特別会計予算

議案第6号 平成30年度小松市後期高齢者医療特別会計予算

議案第7号 平成30年度小松市水道事業会計予算

議案第8号 平成30年度小松市下水道事業会計予算

- 議案第9号 平成30年度国民健康保険小松市民病院事業会計予算
- 議案第10号 平成29年度小松市一般会計補正予算（第6号）
- 議案第11号 平成29年度小松市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）
- 議案第12号 平成29年度小松市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）
- 議案第13号 平成29年度小松市公債管理特別会計補正予算（第2号）
- 議案第14号 平成29年度小松市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
- 議案第15号 平成29年度国民健康保険小松市民病院事業会計補正予算（第3号）
- 議案第25号 小松市手数料条例の一部を改正する条例について
- 議案第26号 小松市科学教育振興奨励基金条例の一部を改正する条例について
- 議案第39号 小松市農業集落排水処理施設維持管理基金条例の一部を改正する条例について

## 6. 委員長報告の要旨

### ■議案第1号 平成30年度小松市一般会計予算について

地籍調査費については、地籍調査事業に要する経費は、国・県・市が負担し、地元の負担がないと  
のことでありますので、今後も、町内会へ積極的に事業の周知を図り、進捗率をより高めていくよう  
求めました。

■市議会議員選挙費については、期日前投票所については、現在3か所で開設されていますが、今後、  
投票率向上のためにも、商業施設等での期日前投票所設置について検討するよう求めました。

■小松・能美鉄道利用連携推進費については、小松・能美鉄道利用連携会議の活動費に対する小松市  
負担分と小松駅・小松空港間のアクセス強化策に関する調査など、小松駅と小松空港との一体感向上  
に向けた事業に要する経費とのことであります。

2023年春の北陸新幹線小松開業に向けては、加賀市を含めた南加賀全体で連携を図るよう求める  
意見も出されました。

■消防団活動装備強化費については、消防団員に耐熱性のある活動服や防塵メガネの整備、また、消

防団用小型除雪機及びLED投光器の配備に要する経費とのことであります。

消防団用小型除雪機の運用については、消防団の活動を第一に、地域・自衛消防隊・町内会・学校等と来シーズンに向けて十分な協議を重ね、地域ごとに最善の運用となるよう強く求めました。連携が図れない場合は、配備そのものを再検討するよう求めました。

なお、この案件について、分科会委員長報告に対する質疑が行われました。

消防団用小型除雪機の運用について、今後、消防団、町内会、学校など地域としっかりと協議し、策定していくとのことでありますので、今後の総務企画常任委員会でも、地域ごとにどのような運用策定がされているかを、しっかりとチェックしていくよう求める意見がありました。

■はたらく障がい者支援費については、障がい者が働きやすい環境を整備するため、就労機会の拡充や継続雇用に向けた奨励金等による支援を行うものでありますが、障がい者の生活の安定化のためにも、今後も継続的に雇用環境の向上に努めていくよう求めました。

■自立支援費については、障がいのある人や家族の高齢化に伴い、地域での生活の安定を支えていくことが重要となることから、福祉サービス及び地域で支えていく体制の充実を図っていくよう求めました。

■防犯交通安全推進費については、地域住民の安全・あんしんに多大な貢献をしている防犯交通推進隊とわがまち防犯隊の隊員に対し、サポート体制の充実と活動内容の広報等による地域でのさらなる地位の向上を求めました。

■コミュニティ助成費については、一般財団法人 自治総合センターの補助を受け、コミュニティ活動に必要な備品や集会施設の整備等に助成を行うものでありますが、備品の整備については、各町内会からのニーズが高いことから、今後、市の単独事業としても、このような助成が出来ないか検討を求めました。

■こまつ市民大学運営費については、地域社会で活躍する人材育成を目的に、公立小松大学や市、社

会福祉協議会等が連携し、平成 30 年 9 月に開校を予定する「こまつ市民大学」の運営に対する負担金とのことでありますが、公立小松大学については学校運営を軌道に乗せることが最重要課題であることから、本業に過度の負担がかからないよう配慮を求めました。

■スキー場管理運営費については、スキー場を取り巻く厳しい環境の中ではありますが、従来どおりの営業形態を続けていくのではなく、リフト改修を機に、リフトに民間企業の広告掲載を募集するなど、収益向上に寄与するような運営を図っていくよう求めました。

■放課後児童クラブ運営費については、市内 37 の放課後児童クラブの活動に対する補助金であります。諸課題のある放課後児童クラブに対しては、教育委員会として更なる助言・協力を求めました。

■ひととものづくり科学館魅力アップ費については、I S S 装置周辺の宇宙展示の充実や A I ロボット等を導入するものでありますが、特にワンダーランド内の展示物については、こども達のワクワク感を引き出すような演出に努めていくよう求めました。

■国際交流員招致費及び国際都市こまつ Welcome 費については、ポルトガル語圏・英語圏の国際交流員の雇用に係る経費や、Wi-Fi 整備などによる外国人旅行者の受入環境整備、市内公共施設の英語表記等に要する経費などとのことであります。

国際都市こまつの推進に向けて、英語圏やポルトガル語圏のみならず、近年増加傾向にある中国語圏の表記等にも対応できる国際交流員の配置を求めました。

■ワーク・ライフ・バランス推進費については、従業員が 100 人未満の事業主が育児・介護休業を取得させた場合や、育児・介護休業取得者の職場復帰時に研修等を行う場合への補助に要する経費とのことですが、補助を十分に活用し、はたらく職場環境が改善されるよう、より一層の制度周知に努めるよう求めました。

■クリーンセンター管理運営費については、環境美化センターの本年 6 月末までの市の運営に係る臨

時職員費など及び、クリーンセンターが稼働する7月以降のSPC（特別目的会社）への業務委託料とのことです。

20年間の長期契約により管理費を平準化し、毎年4億円余を業務委託料として支出していくとのことですが、今後も効率的な管理運転に努め、処理量の推移や運営実績を適宜報告するよう求めました。

■山村活性化支援交付金については、山村地域の振興を図る観点から、ドジョウの養殖など新たな特産品開発を行っているとのことですが、3ヶ年の国の補助期間終了が活動終了となつては意味がないので、将来性あるものについては、市として支援していくよう求めました。

■北陸新幹線建設推進費については、北陸新幹線の建設負担金や建設促進要望に係る費用とのことでありますが、一部の委員より国策である新幹線の負担金支出については反対であるという意見が出されました。

#### ■議案第9号 平成30年国民健康保険小松市民病院事業会計予算について

本院医業費用の給与費については、正規職員と臨時職員の増加や人事院勧告等に伴い、医業費用の中の給与費が増加しているとのことですが、将来的な給与動向等も見据えながら、計画的な人事管理をしていくよう求めました。

#### ■議案第26号 小松市科学教育振興奨励基金条例の一部を改正する条例について

今回の改正は、題名を「小松市未来教育推進基金条例」に改め、科学教育の振興のみならず、外国語教育をはじめとした、地域と世界で活躍する人間性豊かな人材を育成するための教育に活用できるよう、設置目的を変更するものでありますが、一部の委員より、基金の活用については、寄付者の意向が十分反映されるよう、より明確でわかりやすい目的設定に努めるよう求める意見が出されました。

次年度の予算執行においては、これらの各分科会の様々な意見を踏まえPDCAサイクルを十分に働かせるよう求めるものであります。